

## 高校生によるフューチャーセッションを開催しました。

新広域ごみ処理施設建設のために、やむなく解体した白雲荘の意思を継承する新しい還元施設について、若者から高齢者まで幅広い世代が利用していくためにはどのような設備・サービスがあったらいいか、平成30年9月29日（土）小美玉市小川文化センターアピオス 小ホールにて高校生によるワークショップ（フューチャーセッション）『若者が願う「未来型高齢者福祉施設」～白雲荘のこれからのあり方を考えよう～』を実施しました。



（参加した生徒及び正副管理者ほか）

当組合管内の県立高等学校5校（石岡第一高等学校、石岡第二高等学校、石岡商業高等学校、中央高等学校、茨城東高等学校）から約30名の高校生、霞台厚生施設組合正副管理者のほか総勢70名が集まり、未来に向けた夢のある意見が活発に出されました。



（各班の様子を見て回る今泉管理者）

参加した生徒が5班に分かれ、3つのテーマについて他校の生徒同士で意見を出し合い、班ごとに意見をまとめ、最後に発表を行ないました。今泉管理者からは『おじいちゃんおばあちゃんと一緒に暮らしているのだろうかと思えるような、あたたかみを感じる意見が多くあった。全てとはいかないが検討していきたい。』と生徒たちへ感謝の言葉を述べました。

今回の発表の内容は、有識者や地元区長等で構成される地域還元施設等検討委員会に報告し、地域還元施設等整備基本構想を検討する材料とさせていただきます。

### 【テーマ】

- ①地元にあったらいいなと思う施設やサービス
- ②他の世代の人たちと話してみたいことや一緒にやってみたいこと
- ③どのような機能やサービスがあれば子供からお年寄りまでが集えるような高齢者福祉施設になるか

※本件掲載内容は、今後一部変更等が生じる場合もあります。

### 【本件事業に関するお問い合わせ先】

□事業全体に関するもの：霞台厚生施設組合 建設計画課 TEL 0299-56-7773

組合ウェブサイト (<http://kasumidai.or.jp/>) に関連資料を掲載しています